

若者応援プロジェクト奈良

始 動

2021年5月のある日…



そこは、奈良県生協連事務所
いつものようになにげない会話・・・



今、大学生が大変なの？

そうそう。子どもの友達の大学生が大変だって…

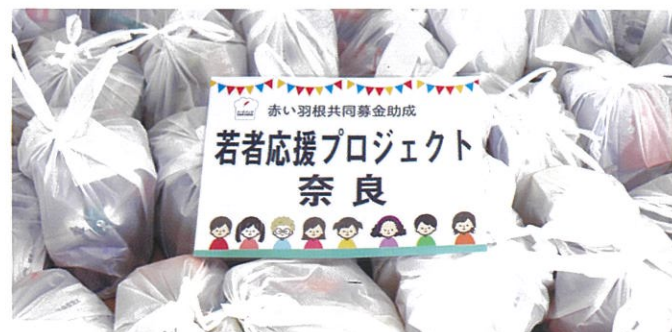
他県では、学生への食糧支援が始まったって聞いたわ

奈良県の大学生はどうなんだろうね



大学生協に
聞いてみようよ

ここから「若者応援物語」は始まった



プロジェクトの軌跡

- 2021年 5月 20日 全国の都道府県生協連の大学生支援の状況から、奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、奈良高専生協に現状の聞き取りを開始
奈良県生協連理事会で支援を決議
- 28日 第1回オンライン会議を開催
- 6月 8日 第2回オンライン会議
奈良女子大学生協がホームページで希望者を募集
- 16日 奈良女子大、奈良教育大、奈良県立大の学生を対象に食品を無料配布120人 於：天理教梅谷大教会
- 7月 7日 第3回オンライン会議
- 20日 奈良県共同募金会交付決定
- 21日 3大学生協にパックご飯404個、レトルトカレー404袋を無料配布
- 8月 23日 第4回オンライン会議
- 9月 23日 天理大学に打診・打合せに入る
- 10月11日 奈良女子大学の留学生ほか130人に精米5kgを配布
- 14日 第5回オンライン会議
- 29日 天理大学学生ホールにて120人に食品を無料配布
- 11月～12月 第1回目
奈良市より、奈良市内8大学に精米を希望数配布
- 11月 8日 奈良佐保短期大学を訪問・日程調整に入る
- 22日 第6回オンライン会議
- 29日 奈良佐保短期大学学生ホールにて120人に食品を無料配布
- 12月 6日 奈良女子大学300人・奈良教育大学10人
～17日 奈良県立大学150人に食品を配布
- 14日 天理大学にて120人に2回目の食品を配布
- 15日 奈良大学を訪問・日程調整に入る
- 2022年 1月 6日 奈良県医療福祉生協くらしの懇談会にてプロジェクトを報告
- 6日 第2回目
奈良市より、奈良市内8大学に精米を希望数配布
- 18日 奈良佐保短期大学へ数の子・鏡餅を寄贈
- 19日 奈良大学にて300人分の食品を寄贈
- 27日 ならコープとの実務者協議を行う
- 28日 奈良教育大学に150人分の食品を寄贈
- 3月 18日 第7回オンライン会議

生協連の呼びかけに、ならコープ、コープ自然派奈良、生活クラブ生協、奈良女子大学生協、奈良教育大学生協、奈良県立大学生協、奈良工業高等専門学校生協、奈良県労働者共済生協、奈良県医療福祉生協の他、フードバンク奈良が呼応して立ち上がった。

フードバンク奈良の理事会に協力を提案、承認される

100人の募集に対し受付開始後15分で予約枠に達し、支援のニーズを実感する

コロナ禍で構内に入構できず、天理教の梅谷大教会を会場に借りることになる

この間に、天理教秋津大教会より米が、個人や市民団体からの寄付が相次ぐ



フードバンク奈良の中央共同募金会の交付金が決定し食品調達にはずみがつく

天理大学・杉山晋平准教授の参加によりプロジェクトが一気に前進する



市民団体、労生協、近畿ろうきんから食品をはじめ雑貨が、フードバンク奈良より米や食品が提供され、大学とプロジェクトチームが一丸となってパントリー実施

実施大学でのアンケートから「必ずSOSを出せずに悩んでいる若者がいるはず」と地道に各大学に打診



コロナ禍による「構内立ち入り禁止」が続く、若者に食糧を手渡せる方法に苦心する中、食品を大学に持ち込み、袋詰め

などの準備を大学に委ねたり、配布方法を工夫したりして「なんとかして学生たちの手元に届けたい」と苦心の連続



ならコープから提供のあった年末年始の食品を、食品ロス削減のため、食物栄養コースのある奈良佐保短期大学で活用していた

学生たちの本音に触れることで、まだまだ支援の手は必要だという認識で一致。次年度の取り組み継続に向けて、早くも動き始めることに…